

晩生品種の着色管理と収穫

10月も半ばを過ぎると「王林」「ふじ」等、晩生種の管理が本格化します。

これら晩生種は、全体の半分を占めるため、大規模リンゴ団地では収穫の始めから終わりまで、かなりの日数を要します。赤色種の「ふじ」は収穫前の着色管理を早め、適期収穫ができるよう効率よく作業を進めましょう。

収穫にあたっては、果実の大きさや地色、みつ入りの程度によって即売用、長期貯蔵用に仕分して箱詰めします。黄色種の「王林」は、地色の上がりを見て、過熟果にならないように適期収穫を心掛けましょう。

貯蔵する場合、収穫の遅れや過熟果は果肉内部褐色変症の発生が多くなり、収穫が早過ぎたり、また、未熟果はヤケ症が発生したりしやすいので注意します。



【 ふじ 】

写真：岩手県農業研究センター 果樹研究室より